

とのすの衆

湯舟伝り事

右に述べる事とす

六月十日

二十天保山三山並大坂三ヶ所より岩山と山と氣又級勝  
湯湯丸橋掛り 万年橋 常橋 昌年石橋 赤尾橋  
亀甲橋 輪印 板橋 二ヶ所 境通り 足ヶ原 尾飯 尾者  
神理 尾多 尾者

王 天保地己年 赤飯山時より鐘堂の修葺 三月九月廿二日  
夜子ノ刻より二ヶ所より鐘堂の修を事とす

十一 所本丸大奥御渡内廊下縁入の百姓神と若又分去

御目付

山岡五郎作

光

今九月時迄大奥御渡内廊下縁入女中及存添番  
池田中より湯舟掛り山渡り外より出しに百姓神(男)以度  
式者(既)石並平太右衛門中口より古出及法外中野渡進  
知り不武橋江那古村百姓平左衛門中者(男)己ノ  
中七者(男)中より出し湯舟掛り山渡り及湯舟掛り  
太橋守仕帯九郎(男)短刀一腰身長寸五寸五寸余湯舟掛り  
長船位燈堂元裏魚永二十二年八月下より改修湯舟掛り  
鏡之を桐洞未洞掛り換り目計金之を拾止湯舟掛り切替

胆共金志也稍思... 燕口草紙入志... 受漢者口又反古... 志紙在... 涉納... 根子... 中... 御使青身

神谷昇方史  
稻垣為了部

老上  
百姓平三傳口書

秋依... 法那... 表... 在... 不見... 礼... 方... 存... 四月廿二日  
平三傳

神谷昇方史  
稻垣為了部

書... 通... 同...

四月廿九日

山園五帝他

王三保己年四月廿九日

松平園坊

石見國那賀郡那村百姓住持元六藏當己廿二歲  
同人女房高己廿一女子出右之孫也房高己月廿四日  
出生之人其男也少許公知母子齊心奉事。此乃其後  
用數加智多敏也

四月廿九日

王五保己年癸巳五月廿九日

中善住

神尾長慶曾支配

内記父源

小倉大進

己酉年一

押也

同人娘

奴兒

己酉年

押也

同人書

己酉年

為發也

右内記子

己酉年

同人中

己酉年

同人知

教長梅屋部

己酉年